



平成 27 年 6 月 30 日

各 位

会 社 名 ティアック株式会社
代表者名 取締役社長 英 裕治
(コード番号 6803 東証第 1 部)
問合せ先 財務部長 吉村邦彦
(TEL 042-356-9178)

(訂正・数値データ訂正)「平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の
一部訂正について

当社は、平成 26 年 10 月 31 日に発表いたしました「平成 27 年 3 月期第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」
の記載事項に一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおりお知らせします。訂正箇所には下線を付
して表示しております。

1. 訂正の理由

平成 27 年 3 月期決算短信発表後の有価証券報告書の作成過程におきまして、連結キャッシュ・フロー計算
書記載に一部訂正が生じたので、提出済みの四半期決算短信を訂正させていただくものであります。

2. 訂正の内容

添付書類 4 ページ

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

② キャッシュ・フローの状況の分析

【訂正前】

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、955百万円のプラス（前年同期 119 百万円のマイ
ナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額 2,062 百万円、マイナス要因としては、税金等
調整前四半期純損失 1,055 百万円、たな卸資産の増加による減少 244 百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第 2 四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、209百万円のプラス（前年同期 629 百万円のプラ
ス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入 355 百万円、投資有価証券の売却による収入
80百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出 141 百万円、無形固定資産の取得による支出 79 百万
円であります。

(省略)

【訂正後】

(省略)

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、731百万円のプラス（前年同期 119 百万円のマイナス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、売上債権の減少額 2,062 百万円、マイナス要因としては、税金等調整前四半期純損失 1,055 百万円、たな卸資産の増加による減少 244 百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果得られた資金は、433百万円のプラス（前年同期 629 百万円のプラス）となりました。主な内訳は、プラス要因として、事業譲渡による収入 355 百万円、投資有価証券の売却による収入 304 百万円、マイナス要因としては、有形固定資産の取得による支出 141 百万円、無形固定資産の取得による支出 79 百万円であります。

(省略)

3. 四半期連結財務諸表

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

【訂正前】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△75	141
(中略)		
小計	1	966
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119	955
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
投資有価証券の売却による収入	60	80
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	629	209

【訂正後】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	△75	△82
(中略)		
小計	1	742
(中略)		
営業活動によるキャッシュ・フロー	△119	731
投資活動によるキャッシュ・フロー		
(中略)		
投資有価証券の売却による収入	60	304
(中略)		
投資活動によるキャッシュ・フロー	629	433